

会 議 録

会 議 の 名 称	第 1 回 矢島地域協議会
開 催 日 時	平成 18 年 6 月 2 日 (金) 午後 5 時 30 分
開 催 場 所	日新館ホール
出 席 者 氏 名	出席者名簿」のとおり
欠 席 者 氏 名	秋山哲朗・佐藤永吉・近藤正満・佐藤寿美子・東海林久美子
会議次第 1.開 会 2.会長あいさつ 3.区長あいさつ 4.協 議 ・平成 18 年度主要プロジェクトについて ・「元気なやしま」の再生について 5.その他 6.閉 会	
会 議 の 経 過	別紙のとおり

出席者名簿
(40名)

(委員 25名)	佐 藤 健 美	産業課長 伊豆 葵
会 長 鈴 木 清	三 浦 秀 人	建設課長 小番直義
副会長 武 内 詔 子	打 矢 正 敏	水道事務所長 菅原賢一
佐 藤 政 一	八 坂 美 智 子	教育事務所長 熊谷 勲
茂 木 好 文	小 番 け い 子	教育課長 三浦幹夫
土 田 龍 太 郎	佐 藤 嘉 孝	振興課主席参事 佐藤義雄
赤 川 祐 一	佐 藤 孝 義	教育課主席参事 三浦徳久
佐 藤 久 美	沼 倉 睦 子	
三 浦 良 明	東海林 晃	(事務 3名)
小 番 功		振興課 佐藤勝一
小 沼 文 夫	(区長 1名)	振興課 滝野由紀夫
相 庭 直 一	自治区長 佐 藤 徳 弥	振興課 東海林ひろ子
佐 藤 伸 一	(総合支所 11名)	
三 浦 省	支所長 植村清一	
土 田 典 子	振興課長 土田隆男	
相 庭 幸 子	市民課長 佐藤則夫	
佐 藤 功	福祉保健課長 植田太一	

平成 18 年度 第 1 回地域協議会

・会長あいさつ

・区長あいさつ

協議

平成 18 年度主要プロジェクト

○振興課長

総合発展計画及び国土利用計画の配布

平成 18 年度主要プロジェクトについて説明（別添資料による）

○A 委員

5 分団 3 部の格納庫解体工事が予算化されているが、ホース乾燥柱も解体対象にしても
られないものか

○市民課長

市所有物件が対象となっているので、市で解体するのは現在のところ困難。格納庫に
ついては寄附いただいているので解体できるが、乾燥柱については、部落所有となっ
ているので市予算での対応が難しい。

○A 委員

補助を受けないで部落でがんばって自前で建設したものであり、手続きや所有により
対応ができないというのは納得がいかない。

○佐藤市民課長

5 分団 3 部について組織の統合という問題があるため解体について配慮している。今
後、実施する際対応できるか検討したい。

○B 委員

デジタル放送への移行によりテレビ共同受信組合の今後の動向についてどうなるのか
教えてもらいたい。

○土田振興課長

新市でCATV事業を今後5年間で実施を予定している。年1回旧組合代表者の連絡
協議会を開催しており、その中でも話題となっており、CATV 計画が来た際、利用料金
等も差あるので移行について協議中となっている。もう少しお待ち願いたい。

○C 委員

中高連携校の建設について、今年度に用地取得等を行うのではないかと思います。状

況についてどうなっているか。

○ **三浦教育課長**

6月8日に説明会の開催予定

○ **D委員**

榎木田線改良工事で十字路に信号機の設置についてはどうなっているのか。

○ **小番建設課長**

県警の配慮により三浦木工の所につけていただけるよう計画されている。

○ **A委員**

合併後10ヶ年において課題になっている道路改良工事の予定・見通しはどのようになっているか。

○ **小番建設課長**

課題となっている事業については、10ヶ年計画に要望しているが、予算枠の関係や中高連携校建設という大きな事業もあるため、後年度に先延ばしされている事業もある。

○ **E委員**

旧矢島町時代に議会で採択されたものの扱いはどうなっているか。

○ **植村支所長**

市に引き継がれており、計画に盛り込めるように努力しているが、財源の確保が難しいものについては、どうしても伸びてきているのが現状である。

○ **F委員**

地域ごとに事業の予算枠があるのか。その考え方は人口割というような考え方なのか。

先ほどの格納庫問題について地域で公共のためにやったものへの対応についてはいかがなものか。また、このような問題についてどのようなところで話をしていけばよいのか。

○ **植村支所長**

予算枠については、あくまでも10ヶ年計画を作成する段階の予算枠であり、計画を見直す度に事業費が膨らむため、計画を精査する段階で当初の予算枠を守りながら進めることにしたため、各地域の予算枠という話が出てきている。今後も10ヶ年計画

を実施する中で事業や予算等の変更が生じることも考えられるので適宜に考えていきたい。平成 17 年度予算は旧市町の持ち込み予算となっている。また平成 18 年度予算は、市長の市政方針にもあるとおり政策予算となっている。平成 17 年度と平成 18 年度予算を比べても矢島地域の予算額が落ちているとは考えていない。中高連携校建設にかかる予算も 1 億円の一般財源となっている。大変ありがたいことであり予算が窮屈になったとは考にくい。

○佐藤則夫市民課長

これまで建設されてきた消防格納庫はすべて各丁内で建設したものである。旧本荘市では、市で建設しており維持費も市で負担している。今後は、市で格納庫を建設し市で管理していくことに基本と考える。現在、上物を無償貸与という形で借りて運営を行っている。今後の取り壊し等を考慮するといまある格納庫について、土地を含めて寄附してもらうことで対応していくべきと考えている。

5 分団については、再編問題等があったため、格納庫の撤去については柔軟な対応をしたもの。その他施設については、借り主との協議していかなければならないと考えております。

○G委員

新市誕生にあたっては、期待と不安が入り交じっての誕生となった。スタート以来いろいろの所でお話を聞くが、想像以上に財政問題が深刻と感じる。厳しい財源の中でスタートですが、これまで旧市町単独ではできなかった事業が合併により可能性が出た事業というものがあるのか教えてもらいたい。また、これまで合併の会議などでも話題になっているが、合併を契機に県道仁賀保矢島館合線の整備がさらに促進されるのではないかという期待や、自然災害（地震）が発生した際、地域を横断する仁賀保矢島館合線が重要になってくると考えられるが、今後の計画等はどのようなになっているか教えてもらいたい。

○植村清一支所長

合併にあたっては、一市七町の 9 万人の市民が夢をもって合併している。合併したメリットは具体化していかなければならないが、ソフト面では、今回の説明でもあるようにこれまでなかった子育て支援や住民自治活動支援等が出てきている。また、これまで旧市町各々で行ってきていた観光事業についても、一体となって取り組めるよう現在観光振興計画を策定しておりますので期待していただきたい。

合併すると国道、県道もかなり整備されるいという話がありましたが、国道 108 号線前杉工区については、用地交渉にも入るようですし、図面もできあがってきているのでいよいよ具体化していくものと考えている。仁賀保線については、鳥海高原と日本海

沿岸道とのアクセス道路となるので、それぞれの町と一緒に、陳情してまいりたい。

○ **小番直義建設課長**

仁賀保矢島館合線は、軽井沢上部まで広い道路になっております。市道下郷線の茶屋長根までは砂利道となっており、これまで東由利と矢島合同で改良をお願いしてきている。現段階では、幅員の広い道路の整備は難しい状況であり、現道舗装での整備予定となっている。

○ **G委員**

新市として、仁賀保矢島館合線の整備についてどのような位置づけになっているのか新市全体が連携を図ることが重要視されているのか、教えてもらいたい。

○ **小番直義建設課長**

重要視しております。現在も総合支所より要望として本庁でとりまとめ県へ提出する予定となっております。

○ **C委員**

仁賀保矢島館合線についてお話しがありましたが、軽井沢のすばらしい道路と現道舗装部分との差があまりありすぎるのではないかと。計画はどうなっているのか。不思議な道路だと思う。

○ **小番直義建設課長**

県の方針で、広い道路は作らないとなっている。まずは第一段階として現道舗装していただき、その後また整備について要望していきたい。

○ **C委員**

これまでいろいろと質問事項がでていますが、地域協議会が2年目となるので、来年2、3月に向けて協議会として、話しっぱなしではなく、この地域に必要な施設、施策について協議会から要望していくべきと考えます。

○ **G委員**

協議会として何ができるかまとめて、提言していきたい。

○ **C委員**

地域協議会では、この地域の課題を行政に意見具申をしていくことが大きな目的だと考える。市施策の説明を聞くだけでなく、地域課題を市に直接ぶつけることが役目と考

えるので、集約できるような対応をお願いしたい。

元気な矢島再生にむけて

○ **鈴木 清会長**

協議会において地域の声をどのように取り上げていくか、地域の皆さんに意識をどのように持っていただくか検討が必要。

前回の役員会において、地域においていろいろなイベントが実施されているが、やっている方が盛り上がっているだけ、なかなか全体的な盛り上がりには欠けている。地域の一体感を醸成するためにはどうするべきか。元気な矢島再生にむけて協議会で3分科会ぐらいに別けて検討したらどうか。今回は時間がないので皆様から方向性について意見をいただきたい。

○ **C委員**

この全体のメンバーでは、委員が多すぎて意見が出にくいので分科会を持つことに賛成。

○ **A委員**

役員会での素案はどうなっているのか。テーマを決めて意見交換するのでよいのではないか。

役員会で検討していただき決定してもらえればよいと思う。

○ **C委員**

委員によっては、委員が意見を述べたいテーマがあると思うが、機械的にわけても構わないか。入りたい分科会があれば選択できてもよいのではないか

○ **H委員**

同じテーマでも構わないのではないか。いろいろな職業の方が意見を出し合って一つのものを作っていければよいのではないか。

○ **I委員**

テーマを決めず、フリートーキングによりまず意見交換をするのはどうか。

○ **鈴木 清会長**

役員会で再度検討して決定したいと思う。

(終 了)